

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山県立岡山一宮高等学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒701-1202

岡山県岡山市北区檜津221

E-mail itinomiy@pref.okayama.jp

Website http://www.itinomiy.okayama-c.ed.jp/itiko.htm

児童生徒数 男子 576名 女子 500名 合計 1076名

児童・生徒の年齢 15歳 ~ 18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「自主自立」「文武不岐」を校風としている。ESDの実践を通して高い志を持って仲間と共に学びあい、未来を切り開く生徒の育成を目標としている。

具体的には、「人間形成」「自己理解」「課題対応」「キャリアプランニング」を柱に、①SSHにかかわる活動、②国際交流にかかわる活動、③国際理解にかかわる活動、④社会貢献にかかわる活動をおこなった。

① SSH (課題研究) にかかわる活動

将来、科学技術イノベーションを担う人材に求められる力のうち、高等学校段階で身に付けるべき力をオクトスキルズ(8つの能力)と設定し学校設定教科「iSプログラム」を開発した。「iSリテラシー」・「iSイノベーション」では課題研究基礎科目としてグループ活動による課題解決に至る過程を繰り返し体験させるとともに、「iSアカデミックイングリッシュ」・「iSイングリッシュ」では英語での発表力の育成をめざしている。カリキュラム開発と並び、教科外での高大連携や海外研修などを通してオクトスキルズを育成している。

オクトスキルズ: I 観察・実験力 II 情報収集活用力 III 論理・創造的思考力

IV コミュニケーション力 V ディスカッション力 VI ファシリテーション力

VII チームワーク力 VIII 専門教育に必要な学力

②国際交流に係わる学習

1・2年生でマレーシア研修、3年生で韓国研修を希望者対象に選抜をおこなって実施している。目的は、現地の高校や研究機関の訪問、博物館見学等を通じて、現地の高校生やさまざまな人々と交流し、それぞれの国が抱える諸問題や文化を知り、グローバルな視野を養うことである。また、高校との交流では、英語によるポスター発表や共同実験、交流行事などを通じて、相互理解やコミュニケーション能力の育成に大いに効果を上げている。

③国際理解（JICA・国際理解シンポジウム）に係る学習

・JICA 中国国際センター研修

1・2年生に希望者を募り、東広島市にある JICA 中国国際センターの研修に参加した。他の学校行事と重なっていたにもかかわらず、32名の参加生徒があった。センターの職員の方から JICA の事業の説明を受けたり、ワークショップを通じて支援する側とされる側との意識の違いを実感するなど、国際支援についての学習を深めることができた。昼食にエスニック料理を食べることができ、海外の食文化を知る体験もできた。

・国際理解シンポジウム

1・2年生と3年生の希望者を対象に、「EU があなたの学校にやってくる」の企画のもと講演会とディスカッションを行った。講師に在日スロヴァキア共和国大使館のダニエル・オントゥコー等書記官を招き、「欧州連合の活躍とスロヴァキア共和国について」という演題で英語でのスピーチを聞いた。EU がヨーロッパ諸国において、あるいは世界の中でどのような役割を果たし、課題を持っているかを具体的な事例を示し説明された。

④社会貢献に係わる学習

1年次に2回、2年次に1回、行事として社会貢献活動をおこなっている。1年次では小学校での学習支援・理科実験ワークショップ、清掃活動を、2年次では中山間地域でボランティア活動をする。全ての活動において生徒がグループを作り自分たちの活動の計画を立てる。特に小学校での活動においては短い時間で児童との距離を縮めるためにはどうしたらよいか、学習内容の予習や、どのように教えると分かりやすいか、など様々な視点から生徒が自ら考え活動に臨むことができた。そのなかで異年齢と交流することの大切さ、社会貢献の意義など活動の内容の他にも振り返ることができた。



① iS English 英語ポスター発表



② マレーシア研修交流



③ JICA 中国訪問



④ 社会貢献活動 小学校学習支援活動

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

- ・ GATEWAY to SCIENCE Softcover
- ・ 朝日けんさくくん
- ・ 学校設定科目「iS リテラシー」テキスト

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校設定科目の中で世界の文化に触れながら、教科横断型の学習を行っている。1年次には普通科「iS イングリッシュ」、理数科「iS アカデミックイングリッシュ」を設定し、世界の文化や環境問題、科学技術への興味関心を高め、課題解決型の学習をする。また、2年次には普通科(文科系)に「課題研究α」を設定し、普通科(理科系)に「iS 課題研究β」を設定する。理数科の「課題研究」とともに自然現象や社会現象における課題を取り上げ、仮説・検証を行い論理的に考える訓練を行う。また、ポスター形式にまとめ発表する力も育成する。3年次には「iS 進路探究」を設置し、自己の在り方・生き方、進路についての学習を展開する。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

・教員組織
ユネスコ係主任のもと、各学年1名のユネスコ係と地域連携担当者（主幹教諭）の5人体制で、ESD活動の推進と社会貢献活動の広報及び取りまとめをおこなった。

・生徒組織
今年度、1・2年生各クラス2名からなるユネスコ委員会を新設し、主にESD活動を推進する「ユネスコ広報班」と主に社会貢献活動を推進する「社会貢献活動班」を組織した。「ユネスコ広報班」は従来から活動をしているユネスコ部の活動支援とESD活動の全校への普及と推進をおこなった。また、「社会貢献活動班」は社会貢献活動の企画と運営、ボランティア活動の広報と取りまとめをおこなっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校自己評価アンケートにESDの活動についての項目を設定し、教員、生徒、保護者に活動について問うとともに、学校経営計画の取り組みについて自己評価し、学校評議員会での意見をまとめ、成果と課題を明確にしている。本年度ユネスコ委員会の設置によりボランティア活動に参加する生徒は増えているが、自主的な活動としてボランティア活動に参加する生徒はまだ少ないように感じる。またESDの活動はテーマが広いので、外部機関との連携が課題である。

⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

活動の内容については本校ホームページで広報するとともに、岡山県教育記者クラブを活用して報道各社に連絡している。報道機関に記事を取り上げられることで本校の取り組みを PR することができるとともに、参加したボランティア生徒には大きな励みとなっている。お礼の手紙をいただくこともあり、意欲的に活動に取り組むきっかけともなっている。

⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

高大接続の一環として、岡山大学の授業を受講した生徒にその成果を本校の単位として認定した。また、岡山大学院生等とポスター発表で交流することで、高大の交流を促進した。さらに、近隣小中学校と連携して「科学実験教室」を複数回実施し、地域の理数系教育の発展に貢献した。岡山市児童生徒科学研究発表会を誘致し、本校生徒をTAとして参加させ、科学技術コミュニケーターとしての力を発揮する機会をもった。

岡山大学 ESD 協働推進室、地域共同推進センター (AGORA) に活動内容の助言をいただき、実際の活動内容について講評をしていただいた。また、岡山市 ESD・市民協働推進センターに運営面での助言・ご協力をいただいた。そして、岡山ユネスコ協会、岡山市京山地区 ESD 推進協議会に生徒の発表の場を提供していただいた。

⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

7月～11月にかけて3回、岡山県下10校のユネスコスクールの代表者が集まり学習会をおこなった。第1回「ESDとは何か」、第2回「フェアトレード」についての学習会をおこなった。第3回は150名を超える各校の代表者が集い、互いの今年度の取り組みについて大学生の司会進行のもと発表をおこなった。今回はブルガリアの4つのユネスコスクールから、各1名ずつの参加があり、事前、事後の学習にも加わり、実践発表をおこなった。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

・主体的活動の推進

全ての学校生活において、生徒が主体的に取り組む姿勢が助長された。特に生徒会活動においては、各委員会の活動が生徒自らの手で企画運営された。評議員会はスマートフォン利用の自主的な規制を呼びかけ、新聞製作など啓蒙活動につとめた。

・ユネスコ委員会の新設と社会貢献活動の推進

ESD の活動を全校生徒の取り組みとして徹底するために、今年度から生徒会にユネスコ委員会を設けた。各クラスから2名の委員を選出し、主に社会貢献活動の企画運営や、ESD に関する学習の推進を行うことができた。社会貢献活動では、岡山県中山間支援センターと連携を図りながら様々な集落に出かけて行き、高齢者の方々との触れ合いの中で、持続可能な文化や経済の活性化について学ぶことができた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

授業時

1年次：普通科「iS イングリッシュ」、理数科「iS アカデミックイングリッシュ」世界の文化や環境問題、科学技術への興味関心を高め、課題解決型の学習をする。

2年次：普通科(文科系)「課題研究α」、普通科(理科系)「iS 課題研究β」、理数科「課題研究」自然現象や社会現象における課題を取り上げ、仮説・検証を行い論理的に考える訓練をおこなう。また、ポスター形式にまとめ発表する力も育成する。

3年次：「iS 進路探究」自己の在り方・生き方、進路についての学習を展開する。

特別活動

1・2年生対象：国際理解シンポジウム ユネスコスクール10校交流会
社会貢献活動 マレーシア研修 JICA 中国訪問

3年生対象：韓国研修